

一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま年度事業計画

(令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日) 【令和7年11月4日改定】

●基本方針

法人の実質的稼働を開始する本期間は、利用者目線での質の高いバスサービスの提供とバス事業者の経営安定化を図るため、広島市及びバス事業者との連携の下、各種共同の取組を着実に進めていく。

●事業

主な共同の取組

単位：千円

項目	内容	予算額	市 負担額	事業者 負担額 ※8 社合計
路線の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・再編候補路線の選定及び再編案の具体化検討を行うほか、再編路線への運賃プール制導入等を見据えたシミュレーションや課題整理等を行う。 ・再編候補路線のうち、調整が整ったものについて、必要に応じて実証運行を行う。※1 	70,725	70,725	0
利便性向上・ 利用促進策の 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点等における乗継環境や待合環境の改善に向けた方針整理等を行う。 ・バス停の利便性向上を図るため、バスロケーション表示器の高度化（多言語化、バリアフリー対応表示）を行う。※2 	6,352	6,352	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進や人材確保に向けたイメージアップのため、利用者への情報発信強化や採用に向けた効果的なプロモーションなど、広報戦略の立案と広報活動を行う。 	6,000	3,000	3,000
リソースの 共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の構築や新たな設備投資に係る事業者の負担軽減を目的として、EVバス車両及び充電設備を導入し、EVバスについては、バスネットワークの全体最適化に取り組む事業者にリースする。 ・車庫等の共同利用や燃油の共同調達など、コスト縮減に向けた検討を行う。※2 	158,030	158,030	0
運転手の 安定的確保	<ul style="list-style-type: none"> ・採用強化に向けた取組として、市消防局や自衛隊の職員を対象とした募集や県免許センターと連携した運転体験会を開催する。 	800	400	400

	・離職防止に向けた取組として、カスハラ対応宣言やマナーアップキャンペーン等のカスタマーハラスメント対策を実施する。			
新技術等の導入	・自動運転バスの普及に向けた技術的課題を整理するための実証運行を行う。※3	40,648	40,648	0
計		282,555	279,155	3,400

※1 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）を活用予定

※2 社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業）を活用予定

※3 新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用予定

●法人運営

(1) 会議

社員総会：5月、3月（予算・決算に係る承認）

理事会：5月、8月、11月、1月、3月

（予算・決算に係る承認のほか、4半期ごとに業務報告を予定。）

経営会議（毎月）

社長会（適宜）

(2) 事務局

事業計画に定めた事務を実施する。

事務局職員は広島市及びバス事業者からの派遣職員が当たる。（計12名）。

